



Rika Satake

2013 *Rika Satake Chanson Recital*

佐竹律香 シャンソン・リサイタル

— シャンソンとバイオリン —



2013年10月18日 さくらホール

ごあいさつ

今日は、皆様大変お忙しい中、「佐竹律香シャンソンリサイタル」にお出かけくださりまして、本当にありがとうございました。今回のリサイタルにおいては、シャンソンでいつもとても重要な役割を担っておりますバイオリンに焦点を当て、人の声と弦楽器の美しい音色とをお楽しみいただければと思っております。バイオリンの歴史は長いものがあり、レオナルド・ダ・ヴィンチの設計によるものもあったようですが、16世紀以降、グワルネリ、アマティ、ストラディバリといった巨匠一族により大変美しい形と響きを持つ楽器となりました。また美術品としての価値も高く、「楽器の女王」と呼ばれています。

バイオリンやピアノの発展とともにモーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト等が大活躍したクラシック音楽の響きを感じながら、同じ楽器による演奏とシャンソンのエスプリも合わせてお楽しみいただければと願っております。

2013年10月18日 佐竹 律香

シャンソンとバイオリン

バイオリンは、シャンソンの中でいつも大変大きな役割を担っています。心に染み入る柔らかな弦の響き、絶妙なビブラート、そして弾けるピチカート等、聴く人々の感動を呼び起こします。今日はバイオリンの暖かな響きとシャンソンの描く人間の心の動きとを携えて、皆さんと一緒にヨーロッパを中心に音楽の旅をしてみたいと思っています。

最初は何といっても音楽の都ウィーンです。宮廷音楽が賑わう中、ハプスブルク家を中心にバイオリンも大発展を遂げました。本日演奏するシューベルトもウィーン生まれの天才作曲家です。そして、次はちょっとイスラムの世界を訪れます。アラビアの砂漠の中に恋を求めて、「アラビア」。そして、バイオリンの名曲の最高傑作の一つ「タイスの瞑想曲」も舞台はエジプトです。そして、元気な若者アラジンが、魔法の絨毯にまだお城から出たことのない若いジャスミンを乗せて美しい夜空を飛び回ります。

後半は、スペイン、セビリアの工場で働くロマ（ジプシー）、カルメン。そしてエディット・ピアフの曲から「ジプシーの恋歌」。

ご承知のようにロマ出身のバイオリンの名手は世界中で活躍しています。そしてロマの多く住む中央ヨーロッパ、ボヘミアへ。

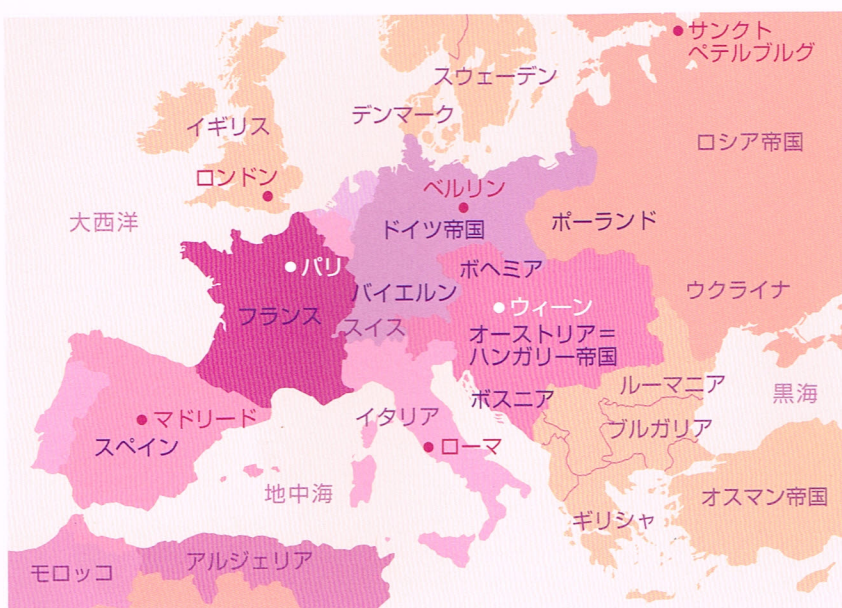
本日、寺島貴恵さんに弾いていただく「ツィゴイネルワイゼン」は、バイオリンの最難曲の一つですが、「ロマの旋律」という意味です。民族音楽らしい旋律もとても魅力的です。そしてそこからポーランドへ。

パルチザンを歌った「今夜は帰れない」。



The map illustrates the historical migration of Roma people from Central Europe (labeled 'ロマの故郷' - Roma's Hometown) towards Scandinavia (Sweden, Denmark) and the United Kingdom (England). A red line traces the path from Central Europe, through Denmark, to Sweden, and then down to England. Labels for 'イギリス' (UK), 'デンマーク' (Denmark), 'スウェーデン' (Sweden), and 'ロシア帝国' (Russian Empire) are present. A red dot in Eastern Europe is labeled 'サンクトペテルブルグ' (St. Petersburg).

様々な喜びや憂いを乗せて、シャンソンとバイオリンの旅は終焉を迎えます。音楽は戦いを避け、喜びを倍増します。歴史の中でバイオリンをはじめとする音楽が果たしてきた役割はとても大きなものだったのではないかと思います。皆様がそれぞれの人生を重ね合わせ、様々な思い出と共に聴いていただければと願っています。



プログラム

第1部

百万本のバラ

愛は貴方のように

枯葉

夢

シューベルト セレナーデ

ウィーンにて

アラビア

タイスの瞑想曲

A Whole New World

第2部

ハバネラ (カルメン)

ジプシーの恋歌

ラ・ボエーム

ツイゴイネルワイゼン

私の心はバイオリン

今夜は帰れない

抱きしめて

アベマリア

愛の讃歌



佐竹律香プロフィール

京都出身。ノートルダム女学院高等学校から、甲南女子大学卒業。

18才の時から、シャンソン歌手菅美紗緒に師事。

1983年 第1回シャンソンリサイタル開催（京都府立芸術会館）

1984年 第2回リサイタル（京都勤労会館）

上京後、「銀巴里」「蟻ん子」等のシャンソニエにレギュラー出演

その後4年間の米国生活。

ボストン、ワシントンDCにてコンサート活動。

2009年 佐竹律香シャンソンリサイタル（京都府立芸術会館）

2009年 ファーストアルバム「貴方を迎えに」発売。

2009年 シャンソンリサイタル（東京ヤクルトホール）

2010年 シャンソンリサイタル（京都会館）

2010年 シャンソンリサイタル（東京よみうりホール）

2011年 シャンソンチャリティーリサイタル（京都会館）

2011年 シャンソンリサイタル（東京よみうりホール）

2011年 セカンドアルバム「佐竹律香ライブコンサート」発売。

2012年 渋谷区主催佐竹律香シャンソンコンサート（文化総合センター大和田）

2012年 シャンソンリサイタル（京都府立文化芸術会館）

2012年 シャンソンリサイタル（東京よみうりホール）

2013年 渋谷区共催佐竹律香シャンソンコンサート（文化総合センター大和田）

2013年 「パリ祭」出演（NHKホール）

演奏

ピアノ ————— 雄太
ベース ————— 和田弘志
ドラム ————— 上地康夫
キーボード ————— 藤山正史
ヴァイオリン ——— 寺島貴恵

スタッフ

照明 ————— 川原敬貴（ロンブル）
音響 ————— 義煎雅志（アンビクス）
舞台監督 ————— 星 雅裕
スライド ————— 房前義勝・小谷 聡
ヘアアーティスト — 伊藤五郎・光倉カオル
衣装 ————— 高橋和代（ミデネット）

協力 ————— 大貫常蔵
——— しますえ・よしお
——— 朝吹タツヤ
——— 岩井美穂
——— 佐藤雅子

主催：佐竹律香音楽事務所 後援：佐竹律香後援会

お問い合わせ：佐竹律香音楽事務所

TEL：090-8847-0808 FAX：03-3796-5588 <http://www.satakerika.com>